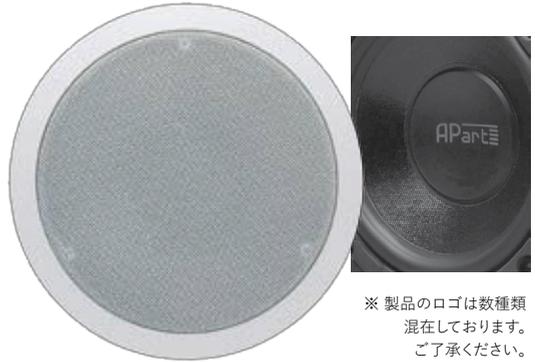


## CMSUB8



※ 製品のロゴは数種類  
混在しております。  
ご了承ください。

CMSUB8 はデュアルコイル式で、2つの入力端子を備えた天井埋め込み用パッシブサブウーファーです。8インチのユニットにより低域から中域まで豊かで深い音質を実現し、小型・中型の天井埋込スピーカー（Apart CM3Tなど）だけでなく、Apart MASK4CT や Apart KUBO シリーズなどの小型壁掛スピーカーに合わせて、高音質なBGM環境が得られます。アルミ製グリルのため多湿な環境にも適しており、他のApart CMシリーズスピーカーと統一されたデザインを採用。接続のバリエーションも多く、さまざまな空間・システムにご使用いただけます。

### 安全上のご注意

- ご使用前にこの取扱説明書をよく読み、正しくお使いいただくとともに、今後のために大切に保管してください。
- スピーカー取付穴を開ける時は、天井パネルの裏側にも十分なスペースがあることを確認してください。（エアコンの配管類や、各種配線などの障害物に注意してください）
- スピーカーの配線は、ケーブルに傷が付かないよう十分ご注意ください。ケーブルが傷付くと、十分な性能が発揮できなかったり、アンプが損傷する恐れがあります。
- メーカー指定のアクセサリ以外は使用しないでください。
- 取付パネルがスピーカーの重量に十分耐えられることを確認してください。
- 音量ムラを回避するため、適切な数量のスピーカーを、空間に均一に配置してください。
- スピーカーに電源ラインを接続しないでください。スピーカーが破損し、火災に至る恐れがあります。
- スピーカーの分解・改造、ご自身による修理はしないでください。痕跡が認められた場合、保証は無効となります。
- 長期使用のため、適切な線径のケーブルをご使用ください。
- 極性が分かりやすい色表示のあるケーブルを使用し、システム全体の極性を維持してください。
- マイクからのフィードバック（ハウリング）による大音量は、スピーカーを故障させる可能性があります。
- 開梱後は直ちに本機の状態を確認し、本体に問題がある場合は、すぐに配送業者までご連絡ください。

### 保証とアフターサービス

ご購入日が記載されている購入証明書（納品書、受注メールなど）が必要になりますので大切に保管してください。適切な設置・用途での使用にて、保証期間内に発生した不具合は、無料修理をさせていただきます。保証期間経過後も、有償修理を承ります。いずれの場合も、まずは以下までお問い合わせください。

#### ■修理お問い合わせフォーム

<https://www.2.jp.onkyo.com/customer/inquiry.asp?id=4>

販売元（日本代理店）：オーディエス株式会社

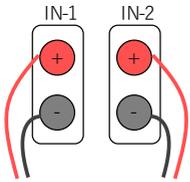
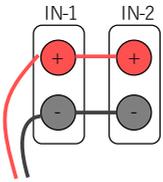
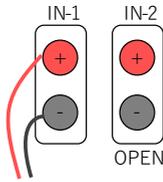
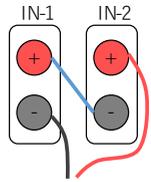
保証期間：ご購入日から **2年間**（本体のみ保証対象）

保証期間内でも以下の場合、**原則有料**となります。

- 購入証明書がない、または改ざんされている
- 不当な修理や分解/改造の痕跡がある
- 磨耗品/可動部品の交換、ご購入後の不適切な輸送/設置による事故や故障、不適切な使用/保管による故障、推奨事項の無視による不具合
- 天災地変（火災、地震、水害、落雷等）や環境公害、電源異常（雷サージなど）による故障や損害
- 日本国外、建造物以外（車両や船舶等）での使用
- 出張サービス費用（作業費、交通費、その他の実費）
- 弊社経由ではない並行輸入品

## CMSUB8のシステムバリエーション

CMSUB8 は、ご希望のシステムに合わせてさまざまな接続方法に対応するデュアルコイル式で、2つの入力端子があります。 各接続方法と注意点をよく読み、どの接続が最適かご確認ください。

タイプ	A) ステレオ信号	B) モノラル信号 並列接続	C) モノラル信号 シングル接続	D) モノラル信号 直列接続
接続	 Lch Rch	 モノラル信号	 モノラル信号 OPEN	 モノラル信号
インピーダンス	8Ω / ch	4Ω	8Ω	16Ω
許容入力	80W / ch	160W	80W	40W
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイナス同士、プラス同士を接続しない</li> </ul> <p>アンプの Lch 出力と Rch 出力がショートし、アンプが故障する恐れがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メインスピーカーと並列接続する場合は、アンプの最低保証インピーダンスに注意</li> </ul> <p>本機のインピーダンスが4Ωになるため、4Ω保証のアンプでは本機以外は接続できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き端子を触らない</li> </ul> <p>空き端子にも電圧が発生するため、感電の恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き端子をショートしない</li> </ul> <p>空き端子をショートすると、出力レベルが極端に減衰します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きなループができないように、各々のケーブルは互いに沿わせて配線する(下图参照)</li> </ul> <p>近傍の電気配線のノイズを拾い、スピーカーから出力される恐れがあります。</p>

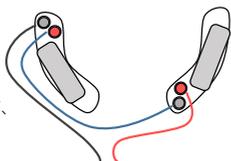
※ 接続図の IN-1 と IN-2 は同等ですので、逆にご使用いただいても問題ありません。

## ※ 直列接続のご注意

Good



直列用の青いケーブルが、黒と赤のケーブルの近くを通過している。



Bad



直列用の青いケーブルが、黒と赤のケーブルから離れ、全体で大きなループ状になっている。



## システム設計上の注意点

### ● 組合せアンプ：

CMSUB8の駆動には、パラメーター可変のLPF(ローパスフィルタ)/HPF(ハイパスフィルタ)を内蔵したアンプが理想的です。Onkyo PCA1120 にはサブウーファーマードが搭載されており、お勧めのアンプです。

**※ メインスピーカーと CMSUB8 は、それぞれ別のアンプで駆動することをおすすめします。**

※ **メインスピーカーと CMSUB8 を 1つのアンプで駆動する場合は**、以下の事項にご注意ください。

- ・メインスピーカーと CMSUB8 を、直列に接続することはできません。(正しい周波数帯域で再生できません)
- ・メインスピーカーと CMSUB8 の並列接続時の合成抵抗が、アンプの最低保証インピーダンスを下回らないようにシステムを選定してください。
- ・メインスピーカーと CMSUB8 の ボリューム調整が共通になるため、上記の CMSUB8 の接続バリエーションから、音量のバランスが良くなるパターンを選択してください。
- ・メインスピーカーは Lo-Z 接続用のシステムしか使用できません。

### ● 組合せメインスピーカー：

※ **1台のアンプでメインスピーカーとCMSUB8 並列接続する場合は**、以下の事項にご注意ください。

- ・設備用途では一般的な、HPF(ハイパスフィルタ)内蔵したスピーカーを推奨します。
- ・Lo-Z 接続用のスピーカーしか使用できません。
- ・メインスピーカーと本機の音量を独立して調整できないため、音量バランスにご注意ください。
- ・メインスピーカーと CMSUB8 の並列接続時の合成抵抗が、アンプの最低保証インピーダンスを下回らないようにシステムを選定してください。

※ **メインスピーカーとCMSUB8 を別々のアンプで駆動する場合は、メインスピーカーの選定には特に制限はありません。**

### ● 設置環境：

CMSUB8 は無限バッフル対応で、天井の空間をそのまま利用できるため、バックボックスは不要です。

もし家具などのエンクロージャーに組み込む際は、20ℓ以上の密閉空間を確保することを推奨します。

天井に埋め込む場合は、本機の重量保持だけでなく、低音域の振動も加味し、必要に応じて天井を補強してください。

また、本機に対し、落下防止ワイヤーなどを使用することを強くお勧めします。

### ● 非防磁仕様：

CMSUB8 は防磁仕様ではないため、CRT(ブラウン管式)ディスプレイとの距離にはご注意ください。

ただし最新のプラズマ / LCD / TFT / LED画面は磁気干渉の影響を受けないため、特に制限なく設置できます。

## スピーカーの取り付け

## (1) 直径 = 223mm の取付穴を切り抜きます。

穴を開けるときは、取付パネルの裏側にケーブルやその他の障害物がないことを必ず確認してください。この確認をせずパネルを切断すると、建物、配管、電源ラインなどの配線が損傷する可能性があります。スピーカーの重量を安全に保持できる強度の構造であるかを確認して設置してください。

## (2) 取付用クランプ (青いドッグイヤークランプ) を外側に回し、縁から飛び出すまでグリル方向に押し下げます。3個のクランプを徐々に押し下げること、スピーカーグリルを取り外すことができます。

## (3) クランプを内側に戻し、ネジを軽く締めてクランプを内側に仮固定します。

## (4) スピーカーケーブルをスピーカー端子に接続します。

本機はデュアルコイル仕様のため、2つのスピーカー端子があり、必要な低音の音量やアンプの能力を考慮して接続方法を決めます。詳細は「システムバリエーション」の項をご参照ください。

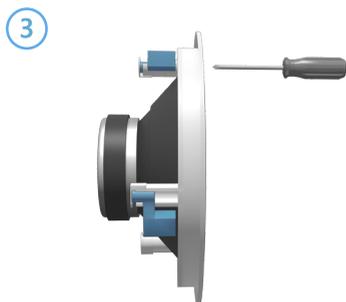
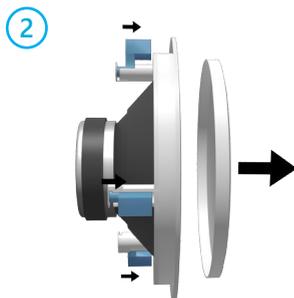
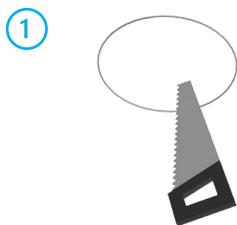
## (5) スピーカーをパネルの開口部に挿入します。

## (6) スピーカーが所定の位置に収まるまで、クランプ用ネジを慎重に締めます。クランプ用ネジは締めすぎないようにご注意ください。

## (7) スピーカーグリルを注意深く元の位置に戻します。

## !! 安全上のご注意 !!

柔らかめの天井材など、その材質によっては、低音域の振動ストレスで破損する可能性があります。懸念がある場合は、開口部周辺の天井を補強してください。



外形サイズ (直径φ)	246 mm	ダイナミックパワー (Lo-Z接続時)	80 W x 2
開口径	223 mm	音圧レベル @ 1W / 1m	88 dB
埋め込み深さ	97 mm	最大音圧 @ 1m	107 dB
スピーカー重量	2.10 kg	周波数帯域	50 - 200 Hz
スピーカー構成	デュアルコイル	筐体素材	ABS 樹脂
ウーファーサイズ	8 インチ	グリル素材	アルミニウム
コーン素材 (ウーファー)	コーティングペーパー	IP 規格	54
マウントシステム	3点支持	ローインピーダンス (Lo-Z) 対応	○
インピーダンス (Lo-Z接続時)	8 Ω x 2	100/70V系 ハイインピーダンス (Hi-Z) 対応	X